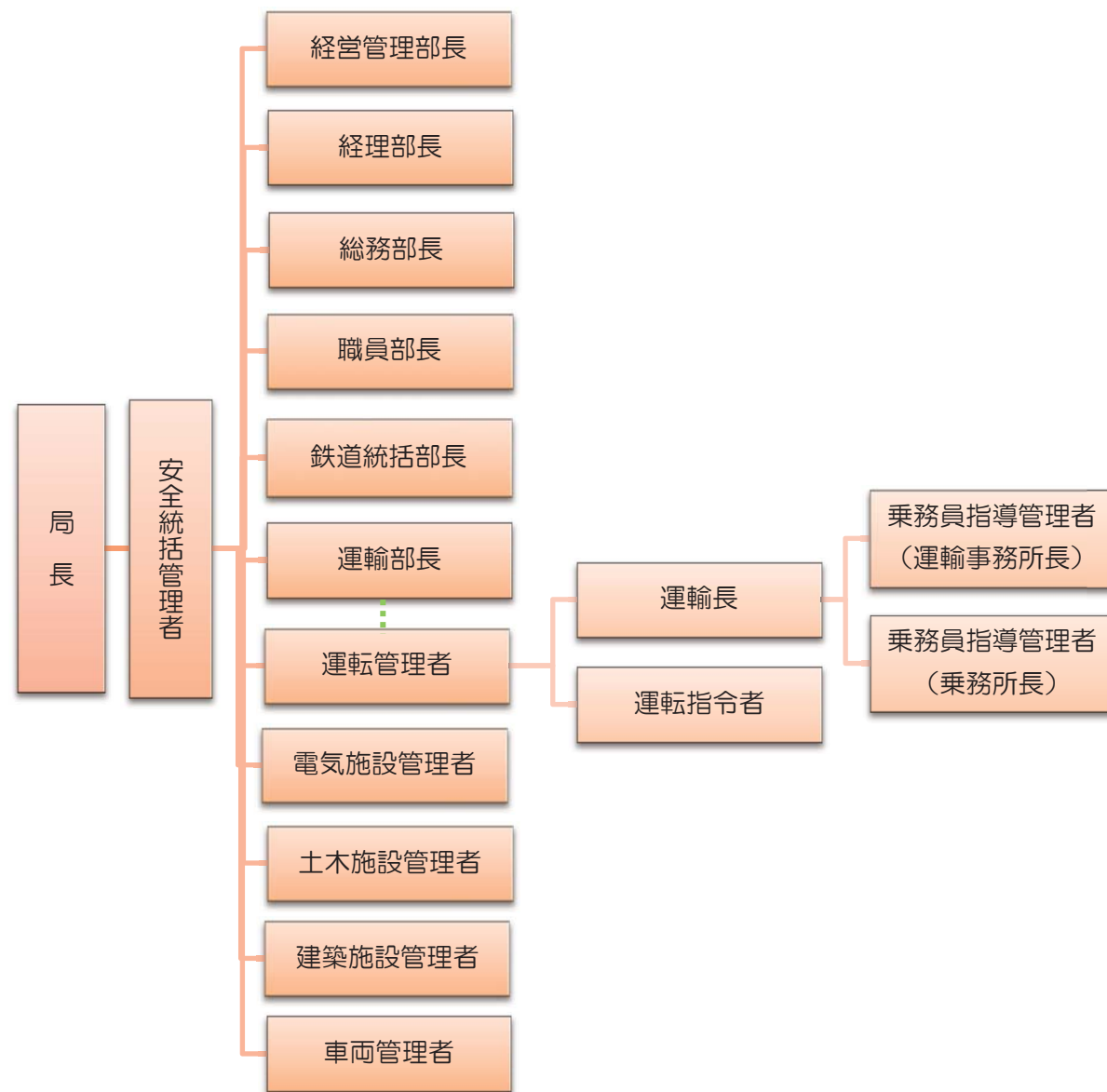


## ① 安全の確保に係る体制（安全管理体制）

経営トップの局長のリーダーシップのもと、安全管理体制を構築しています。

2014年4月1日現在



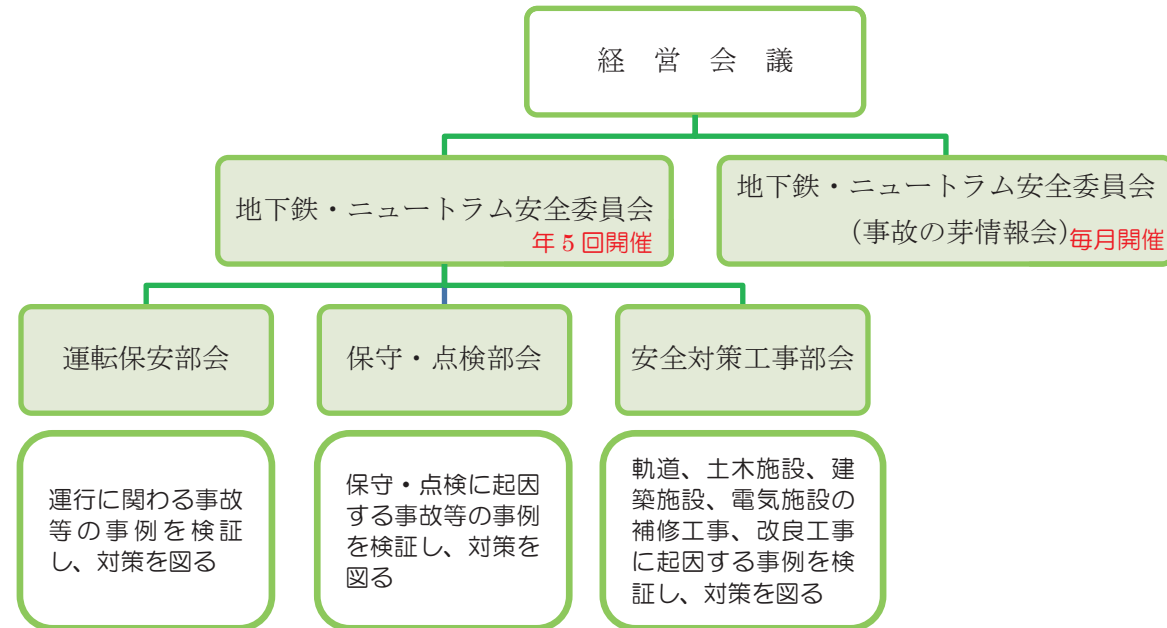
※ ..... は、運輸部長が運転管理者の業務を補助していることを示す。

### 主な管理者とその責務

- 局長**
  - ・輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
- 安全統括管理者**
  - ・輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
- 鉄道統括部長**
  - ・内部監査及び輸送の安全の確保に必要な施策の推進に関する事項を統括する。
- 運輸部長**
  - ・安全統括管理者の指揮の下、運輸に関する事項を掌理し、運転に関する事項について運転管理者の業務を補助する。
- 運転管理者・各施設管理者・車両管理者**
  - ・安全統括管理者の指揮の下、運転、各施設及び車両に関する事項を統括する。
- 乗務員指導管理者**
  - ・運転管理者の指揮の下、乗務員及び操縦員の資質の維持に関する事項を管理する。
- 経営管理部長**
  - ・輸送の安全の確保に必要な経営管理に関する事項を統括する。
- 経理部長**
  - ・輸送の安全の確保に必要な経理に関する事項を統括する。
- 総務部長**
  - ・輸送の安全の確保に必要な連絡調整及び広報等に関する事項を統括する。
- 職員部長**
  - ・輸送の安全の確保に必要な要員に関する事項を統括する。

## ② 安全委員会と事故の芽情報

地下鉄・ニュートラム安全委員会では、安全統括管理者のもと安全管理体制の確立を図り、地下鉄・ニュートラムの運行について一層の安全を推進することを目的とし、安全管理に係わるさまざまな検討を行ないます。また、2012年7月より事故の芽情報会を設置し、毎月、現場から寄せられるヒヤリハット、事故の芽に対して、スピーディーに対応するように努めています。



### 職員の経営参加意識の醸成（事故の芽処理の2週間ルール）

現場から寄せられる「事故の芽情報」は、放置すれば事故になる事故の芽を、小さなうちに摘み取り事故の発生を防ぐ大切なものです。現場職員から寄せられた意見や気づき、ヒヤリハット体験は、現場事務所を通して、本局管理部門に集約し、対策（設備改善やルールの見直し）を講じます。情報提供者へは2週間以内に、その対応等を回答することになっています。

また、これらの情報と対策は、毎月開催する地下鉄・ニュートラム安全委員会（事故の芽情報会）で各部に報告し、情報を共有します。

交通局では、この一連の取扱いが職員の経営参加意識の醸成に結びつくものと考えています。



## 現場職員からの気づきによる改善例

### 検車場の引継台 気づきの発信者：運転士

列車と引継台の隙間が広く、特に雨天時は足元が滑るため、乗り込む際に危険であったが、設置場所を変更し隙間を狭くすることにより、安全に列車に乗り込むことができるようになりました。

（改善前）



広い

（改善後）

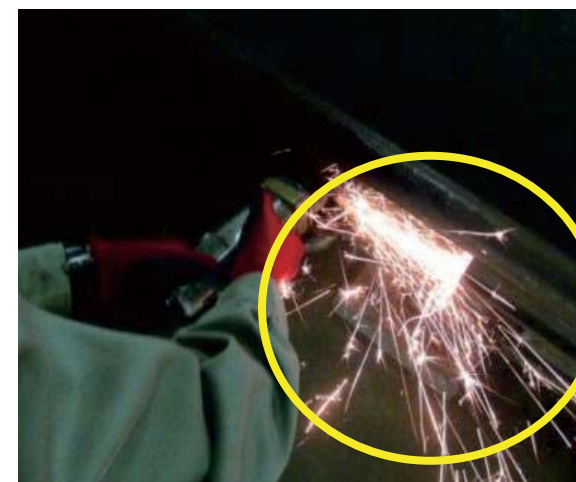


狭い

### スパークガード使用による火の粉飛散防止について 気づきの発信者：電力技術員

レール交換作業によるレールボンド取付作業時、ディスクグラインダーの使用で火花が飛散し、保線区作業員へ火花がかかるため保線作業が終了するまで待機していたが、スパークガード使用により火花の飛散を抑えることができ、安全に同時作業を行うことが出来るようになり、作業時間、最終確認の時間に余裕を持つことが出来るようになりました。

（改善前）



（改善後）





### ③ 安全確保に関する 各種活動



#### 保線競技会

2013年12月3日

日ごろから現場職員の技術力向上に取り組んでいます。競い合うこと、表彰することで、職場全体の更なる安全意識と技術力の向上を図っています。

2013年8月6日  
2013年11月29日

#### 建築安全大会

請負工事及び委託作業における災害や事故等の未然防止のため、受注者等とともに安全への取り組みを行っています。



# 2013

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
春の全国交通安全運動 地下鉄工事安全週間		触車事故防止週間 感電事故防止週間	安全講演会 地下鉄・ニュートラム安全運転推進運動 技術三部合同情報伝達訓練 全国安全週間	サービス向上運動 建築安全大会	触車事故防止週間 秋の全国交通安全運動	総合訓練(施設・車両復旧編) 地下鉄・ニュートラム安全運行強化週間 全国労働衛生週間	車内案内放送コンテスト 安全講演会 車両火災予防運動 建築安全大会	年末年始の輸送等に関する安全総点検 保線競技会 業務研究発表会	年末年始の輸送等に関する安全総点検	安全に関する取り組み発表会	触車事故防止週間 運転技能競技会 電気・機械業務研究発表会 車両火災予防運動

# 2014

#### 車内案内放送コンテスト

2013年11月1日

基本放送や異常時の放送等、車内案内をテーマに日頃培った技術を披露するコンテストを開催しています。

優良乗務員を称賛することで士気の高揚及び案内業務の意識向上を目指します。



#### 運転技能競技会

2014年3月20日

基本動作の重要性を再認識し、日常業務における運転技術の技量及び知識の向上を目的として競技会を開催しています。乗務所ごとに実車において運転操作及び基本動作の試験による選抜を行い、上位成績者が選手権大会に出場し運転知識を競います。技能と知識を兼ね備えた優良乗務員を称賛することで、士気の高揚及び運転技能の向上を目指します。

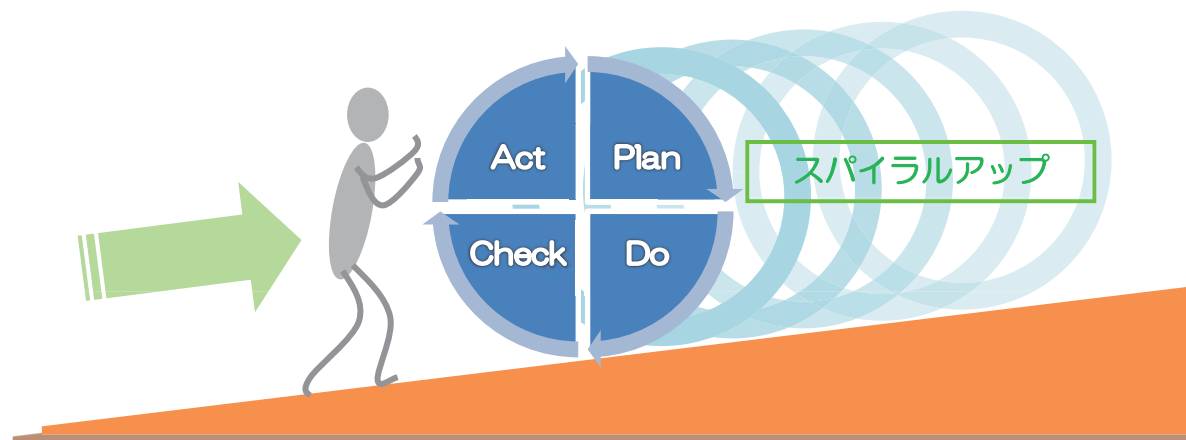




## 安全管理の方法

輸送の安全の確保に関する計画を策定し（Plan）、これを着実に実行し（Do）、その進捗状況の確認・検証を行い（Check）、必要な改善を図る（Act）ことを繰り返し行い、安全管理体制の継続的な改善を行うことで、各種の安全施策を進めています。

確認・検証（Check）には、内部監査によるものの他に国土交通省による運輸安全マネジメント評価があります。



## 内部監査

大阪市交通局では、毎年、安全管理体制に係る内部監査を実施しています。

内部監査は安全管理体制が適切に確立され、実施され、維持され、機能していることを確認し、これにより交通局の輸送の安全が適切に確保できているかを客観的に確認することを目的に実施しています。

### 2013年度重点監査事項

- ・輸送の安全の確保に関する規程等の遵守状況の確認
- ・2012年度運輸安全内部監査フォローアップ事項の取組み状況の確認
- ・自主監査活動の有効性の確認



内部監査ヒアリング状況

## 総合訓練

1993年のニュートラム事故を教訓とし、不測の事態に迅速に対応できる体制を確立し、各部合同で消防及び警察等の協力を得て、異常時におけるお客さまの安全を守ることを目的に訓練を実施します。

### 避難誘導編（10月19日）

（想定）四つ橋線北加賀屋駅～住之江公園駅間を走行中に震度6弱の地震が発生し、運行不能状態になるとともに、大津波警報が発令された。また、お客さまが負傷を負った。

（参加）交通局160名  
大阪府警25名  
大阪市消防局25名



心肺停止状態のお客さまに対する、心肺蘇生法及びAED取扱い状況



消防隊による救助活動



避難誘導

### 施設・車両復旧編（10月29日）

（想定）列車が高架部を走行中、曲線部を通過時に地震が発生、地震の影響で最後尾車両が脱線、地上施設物を破損させて、走行不能になり停止した。

（参加）交通局111名



レール交換作業状況



脱線復旧状況



## 安全講演会

2013年7月と11月に、安全講演会を開催しました。他事業者から講演講師を招き、他社の安全の取組み等の紹介があり、安全管理の重要性について意識の向上を図りました。

2013年7月19日

講師 株式会社JR東日本パーソナルサービス 顧問 関口 雅夫氏  
テーマ 現場社員が主役になったJR東日本民営化の足跡  
～官から民への発想の転換と実行～

2013年11月22日

講師 日本航空株式会社 安全推進本部 部長 海老名 巖氏  
テーマ JALグループにおける安全への取組み



安全講演会の様子

## 安全に関する取組み発表会

2014年2月7日に「安全に関する取組み発表会」を開催しました。

予選会を勝ち上がった各部の代表者による取組みの発表があり、他の所属の業務や取組みを知るなどの共有化を図り、最も優秀であった所属に対して、表彰を行いました。

また国や他鉄道事業者に審査員として多数ご参加いただくとともに、JR九州の現場職員による特別発表を行っていただきました。



発表の様子



最優秀賞を受賞した工務部

## ④ 風通しの良い職場づくりに向けて 職員と経営層とのコミュニケーション

局長以下、安全統括管理者や各施設管理者、各部長など直接職員とコミュニケーションを取ることで風通しの良い職場をつくり、安全意識の共有・向上に努めています。

### 局長の現場での コミュニケーション（夜間現場巡視にて）



現場巡視



現場巡視前の訓示



現場巡視後の意見交換会

### 安全統括管理者の現場での コミュニケーション（現場巡視にて）



乗務所での巡視



駅での意見交換